

ICCAE



名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成20年7月1日発行 第9巻 第1号(年2回発行;通巻14号)

発行/名古屋大学 農学国際教育協力研究センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<http://iccae.agr.nagoya-u.ac.jp/index.html>

e-mail:iccae@agr.nagoya-u.ac.jp

タイ農業協同組合省農地改革局 と交流協定締結へ

農学国際教育協力研究センター(ICCAE)はタイ農業協同組合省(日本の農水省に相当)農地改革局(The Agricultural Land Reform Office: ALRO)と農業、農産物加工、マーケティング、農業組合、農地管理、情報技術、食の安全、総合防除などの分野で連携を強化するため交流協定を近々締結する予定です。

締結のきっかけは、ICCAEの松本教授が平成18年度外務省第三者評価「農業・農村開発に関わる我が国ODAの評価」にアドバイザーとして参加し、事例調査対象国のタイを2006年10月に10日間訪問し、現地調査を行ったことでした。ALROは主に灌漑やため池の開発により農家へ耕地を提供し、栽培技術の改良や土地改良区の農家の生活向上に取り組んでいます。今後は農産物加工の振興、「道の駅」の強化を計画しており、この分野の取り組みを行っているICCAEとの連携を強化



技術交流協定書への署名

するため、交流協定締結を申し込んで来ました。

ALROは本年5月12日から16日まで 土地改革と農家の生活向上を討議するためアジア8カ国から関係者を招へいし"International Conference on Land Reform for Wealth Life" を開催しました。ICCAEからは、松本教授と伊藤准教授が出席し、「カンボジアにおける農産物加工の現状」を発表しました。また、その際会場にて交流協定を締結するまでの技術交流協定をALRO局長と松本教授で結びました。(松本哲男)

eラーニング

オープンソフトSakaiを用いたオンライン・コースの開発会議とコース作成の講習会

ICCAEと名古屋大学大学院生命農学研究科は、2004年以来アジア農科系大学連合(AAACU加盟49機関)の中で、特にeラーニング・ネットワークの拠点校であるタイ・カセサート大学、フィリピン・レイテ大学、台湾・国立中興大学農学部とオンラインを使った共通修士課程の開発を行ってきました。本年もこれらの拠点大学の教員を2008年2月7日、8日に招へいして、オンライン教育の教材開発のための開発会議とコース作成のための講習会を生命農学研究科において開催しました。

カリキュラムの標準化、普及、単位互換性と認定方法について討議を行い、一定の前進を見ることができました。ICCAEとこれらの大学では、これまで使用していたWebCTの供給会社を買収され、ライセンスが事実上使用できなくなったため、新たに米国の大学連合で開発されたオープンソフトSakaiを昨年よりオンライン遠隔教育に採用しています。そこでSakaiの普及を促進するため、会議終了後、梶田名古屋大学情報基盤センター准教授を講師に、上記大学より推薦された大学院担当教員6名にSakaiの使用法の講習を実施しました。

ICCAEでは講習終了後に、各受講者に対してアカウントを発行し、受講生の帰国後も技術的なサポートを継続しつつ、コース作成を支援しています。(松本哲男)



eラーニング用教材の開発